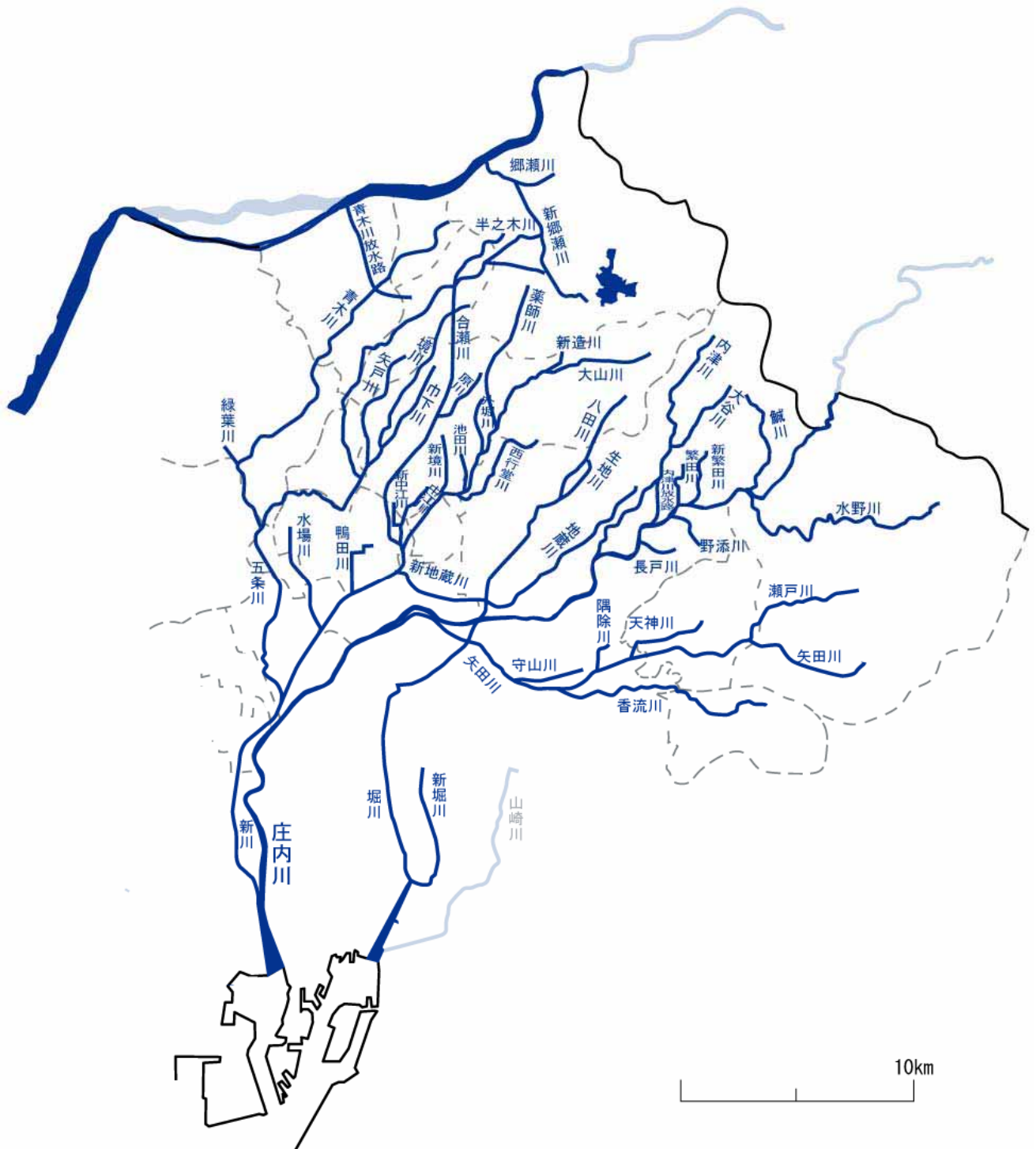


(2) 木曾川・庄内川等流域



【木曾川・庄内川等】

流域の概要

木曾川

水源(起点)長野県木曾村(鉢盛山)

幹線流路延長 229 km

流域面積 5,275 km²

郷瀬川

水源(起点)犬山市新池・中島池

河川延長 4.4 km

流域面積 55.6 km²

庄内川

水源(起点)岐阜県恵那市(夕立山)

幹線流路延長 96 km

流域面積 1,010 km²

新川

水源(起点)庄内川洗堰

河川延長 22 km

流域面積 249 km²

五条川

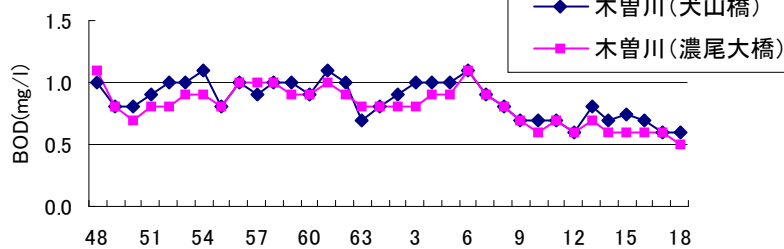
水源(起点)犬山市西片草地先

河川延長 30 km

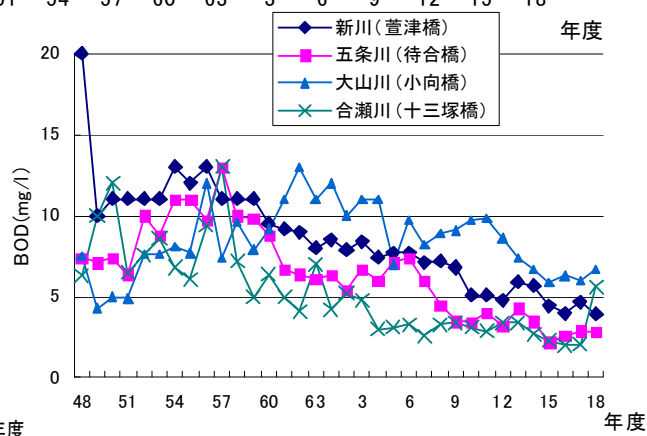
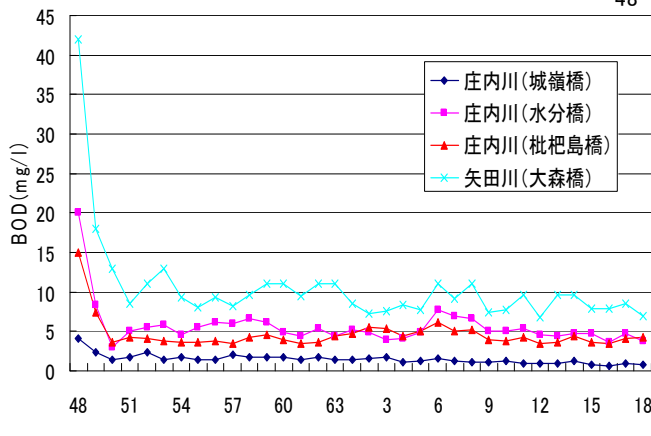
流域面積 112 km²

水質環境基準

水域	類型	pH	BOD	SS	DO
木曾川中流	A	6.5-8.5	2mg/l以下	25mg/l以下	7.5mg/l以上
木曾川下流	A	6.5-8.5	2mg/l以下	25mg/l以下	7.5mg/l以上
庄内川(水野川合流点より上流)	B	6.5-8.5	3mg/l以下	25mg/l以下	5mg/l以上
庄内川(上記から下流)	D	6.0-8.5	8mg/l以下	100mg/l以下	2mg/l以上
矢田川	D	6.0-8.5	8mg/l以下	100mg/l以下	2mg/l以上
新川(比良新橋より下流)	D	6.0-8.5	8mg/l以下	100mg/l以下	2mg/l以上
五条川(待合橋より下流)	E	6.0-8.5	10mg/l以下	ごみ等の浮遊が認められない	2mg/l以上



BOD 年間平均値の推移



流域情報

- 木曾川は、長野県木曾谷を源流域として中山道沿いに南南西に下り、濃尾平野に入って一宮市の西側を南下して長良川と背割堤を挟んで並行して流れ伊勢湾に注ぐ。
- 郷瀬川左支川である新郷瀬川は、その上流部に大規模な農業用ため池である「入鹿池」を抱えている。
- 新郷瀬川では、スズサイコ、ナガエミクリ、スジシマドジョウなどの貴重種が確認されている。
- この流域は庄内川流域と新川流域からなり、中京経済圏の中心をなす名古屋市の一部や隣接する地域であり、都市化が進み、森林や水田は減少している。
- 新川流域は、木曾川の氾濫平野の旧河道に沿う流れを五条川が集め、東方から低台地を経て大山川が流下し新川に集められ伊勢湾に注いでいる。
- 河口域の藤前干潟はシギ、チドリ類の渡来地として国内最大級の規模を誇り、ラムサール条約で国際的に重要な湿地として登録されており、ハマシギなどの貴重種も多く確認されている。

生物の生息・生育状況

上流	植物：ツルヨシ、オギ、ヤナギ
	魚類：ドジョウ、ナマズ、オイカワ、カワムツ、コイ、フナ、モツゴ
下流	植物：ヨシ群落
	魚類：アユ、ウナギ

【木曾川・庄内川等】

流域での取組

「木津用水水管理対策協議会」 昭和54年に設立

木津用水土地改良区及び小牧市始め木津用水流域の関係12市町を会員として昭和54年に設立され、木津用水流域の治水、利水、水質等の水管理実態などの調査研究が行われている。

郷瀬川・新郷瀬川では、沿川住民による草刈り、河川清掃活動・自然観察を中心とした河川愛護活動や総合学習の場としての利用がされている。

「庄内川水系水質保全連絡協議会」 昭和48年に発足

国、県、庄内川沿川の市町、名古屋港管理組合を構成員とし、庄内川水系のさらなる水質改善に向け、水質事故への対応や、水質データの整理等が行われている。

「土岐川・庄内川流域ネットワークの活動」

河川環境の保全・創出、情報交換と交流、行政や企業との連携・協働を目的として設立され、流域でのビオトープ整備、藤前干潟の清掃活動など上下流連携の取組が行われている。

名古屋市では、堀川の水環境改善のため平成22年度を目標とした堀川水環境改善緊急行動計画が策定され、直接浄化、合流式下水道の改善等が進められるとともに、市民による「堀川1000人調査隊」による水質調査などの総合的な取組が実施されている。

藤前干潟は、2002年11月に、日本有数の渡り鳥の渡来地としてラムサール条約の「国際的に重要な湿地」として登録された。2005年3月には、学識者、民間団体、行政で構成する藤前干潟協議会が設置され干潟の保全活動が進められている。

特徴と課題

- 庄内川流域では、工場排水や生活排水による汚濁が著しかったが、排水規制や下水道整備などで改善されてきた。しかし、矢田川上流では環境基準が達成されていないことや、庄内川下流では生物の生息環境や水に親しむ観点からさらなる改善が望まれる。
- 庄内川は都市河川でありながら、河口域の藤前干潟や河畔の植生など豊かな自然環境に恵まれ、貴重な生物の生息・生育の場として重要であるので、横断工作物や護岸の整備などにより制約を受けた生息生育環境の改善をはかる必要がある。
- 新川流域では環境基準を達成しているものの、非かんがい期に水量が減少するとともに悪化する水質の改善と雨水などによる地下水かん養が必要である。
- 新川流域では、市街化により流域の保水・遊水機能が低下しており、開発に伴う流域抑制対策である雨水貯留浸透施設等の設置など雨水のかん養機能にも寄与する特定都市河川浸水被害対策法に基づく取組が実施されている。
- 農業用排水路であった河川が流域の急激な都市化により排水機能の改善が急務となり、親水空間としての活用も行われているが、限られた用地内での整備が行われている。可能な限りの動植物の生息・生育環境への配慮が求められる。

流域別目標

☆水が見えるまちづくり

- 水質等の改善により魚が見られ人が親しめる身近な水辺の創造
- 都市域において生物が豊かな干潟やヨシ原などの保全

藤前干潟



森づくりの取組

取組	水源涵養林育成事業	登録年度	平成19年度
分類	水質の浄化 水量の確保 生態系の維持 水辺の保全		
実施主体	愛知用水の受益市町		
<p>1 取組の目的、背景及び必要性 平成3年愛知用水通水30周年を期に、愛知用水サミット宣言の趣旨に基づき、「受益市町連絡会議」が設置された。</p> <p>2 実施内容（概要）、実施時期、実施場所など</p> <ul style="list-style-type: none"> 実施内容 植樹祭（ヒノキの苗木を300本／年植樹） 実施場所 牧尾ダム周辺 実施時期 毎年5月下旬頃 <p>3 取組の連携・協働</p> <ul style="list-style-type: none"> 植樹祭は受益市町、水源村である王滝村、木曽町、木曽森林組合、愛知県、水資源機構、愛知用水土地改良区が参加する。 愛知用水土地改良区は、植樹場所の選定、植樹後の管理（下草刈、枝打ち、食害防除）を行っている。 			
		<p style="text-align: center;"><u>愛知用水サミット宣言</u></p> <p>私たちは、愛知用水の水源村と受益市町といった立場の違いを越え、21世紀に向けて、限りある貴重な水の確保とこれからの愛知用水のあるべき姿について、今後引き続き、対話と協調の道を歩む必要性を確認し、この愛知用水サミットにおいて、次のとおり宣言する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 一 私たちは、愛知用水のいのちの水がめである牧尾ダムの美しい姿を後生に残すため、牧尾ダム周辺の景観整備とダムを潤す水源涵養林の保護、育成に努めるものとする。 二 受益市町は牧尾ダムの建設と管理に協力いただいていた、王滝・三岳両村の方々に感謝し、人と人との交流の拡大等を通じて、両村の一層の発展に奇与するものとする。 三 受益市町は、水の有効利用や水質の保全に努めるとともに、住民に対して、これら水に関する広報、啓蒙活動をより一層活発に行うものとする。 	
取組	水源地域との上下流交流	登録年度	平成19年度
分類	水質の浄化 水量の確保 生態系の維持 水辺の保全		
実施主体	名古屋市		
<p>1 取組の目的、背景及び必要性 名古屋の水源地である岐阜県下呂市（岩屋ダム）と長野県木祖村（味噌川ダム）と交流することにより、水源涵養意識の高揚を図る。</p> <p>2 実施内容（概要）、実施時期、実施場所など</p> <ul style="list-style-type: none"> 実施内容 名古屋市民が水源地を訪れ、ドングリの苗の植樹やダム見学などを通して水源地の人と交流する。（「木曾川さんありがとう」） 実施時期 毎年5月頃 <p>3 取組の連携・協働 ボランティアグループ「水源地を見にいき隊」も同行。</p>			
			

郷づくりの取組

取組	総合治水対策の推進	登録年度 平成19年度
分類	水質の浄化 水量の確保 生態系の維持 水辺の保全	
実施主体	扶桑町	
<p>1 取組の目的、背景及び必要性 宅地化が進み、雨水不浸透面積が増大したことから、洪水対策と環境への負荷軽減を目的として、水田の埋立てを防止する。</p> <p>2 実施内容（概要）、実施時期、実施場所など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実施内容 町内で、水田埋立防止対策として、助成をしている。 		
取組	自然生態園整備事業	登録年度 平成19年度
分類	水質の浄化 水量の確保 生態系の維持 水辺の保全	
実施主体	岩倉市	
<p>1 取組の目的、背景及び必要性 都市化の進展とともに農地の転用が進み、身近な自然が次々と失われていく状況の中、市内で一番重要な自然の文化財である北島町津島神社の鎮守の森周辺を、自然を生かした「ビオトープ公園」として整備した。</p> <p>2 実施内容（概要）、実施時期、実施場所など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実施内容 ビオトープ公園の整備（平成7年度整備） (施設：トンボ池、ワークハウス、四阿、こうもりタワー、草屋根昆虫館、昆虫繁殖堆肥場) ・ 実施場所 北島町津島神社の鎮守の森周辺 		
取組	湿地の保全	登録年度 平成19年度
分類	水質の浄化 水量の確保 生態系の維持 水辺の保全	
実施主体	春日井市	
<p>1 取組の目的、背景及び必要性 湧水湿地は貧栄養状態を維持することが必要であるため、周辺樹木及び大型の草木の進入を防ぎ、湿地の保全を図る。</p> <p>2 実施内容（概要）、実施時期、実施場所など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実施内容 除伐、下刈を実施 ・ 実施場所 築水池周辺 ・ 実施時期 毎年2月頃 <p>3 取組の連携・協働 自然友の会の協力を得ている。</p>		

まちづくりの取組

取組	合流式下水道の改善	登録年度	平成19年度
分類	水質の浄化 水量の確保 生態系の維持 水辺の保全		
実施主体	名古屋市、一宮市		
1 取組の目的、背景及び必要性	合流式下水道は、雨天時に未処理下水の一部がそのまま公共用水域に放流され、水質上、公衆衛生上問題があるため、合流式下水道の改善を図る。		
2 実施内容（概要）、実施時期、実施場所など	<ul style="list-style-type: none"> 実施内容 合流式下水道の改善のため、吐き口対策スクリーン、遮集管、雨水貯留施設等の設置を行う。 実施場所 名古屋市、一宮市 		
取組	特定都市河川浸水被害対策法等に基づく取組	登録年度	平成19年度
分類	水質の浄化 水量の確保 生態系の維持 水辺の保全		
実施主体	民間開発者、流域市町、愛知県		
1 取組の目的、背景及び必要性	流域の市街化に伴う流出抑制対策として特定都市河川浸水被害対策法に基づき、新川流域を特定都市河川流域に指定。		
2 実施内容（概要）、実施時期、実施場所など	<ul style="list-style-type: none"> 実施内容 雨水浸透阻害行為（開発行為）に対する雨水貯留浸透施設設置の義務付けなど 親子フォーラムの開催等による普及啓発・情報発信 実施場所 新川流域 		
取組	水質環境目標値市民モニタリング	登録年度	平成19年度
分類	水質の浄化 水量の確保 生態系の維持 水辺の保全		
実施主体	名古屋市、市民グループ		
1 取組の目的、背景及び必要性	平成17年度に「環境目標値」を見直し、水のおいしさや水の色等より感覚的にわかりやすい「親しみやすい指標」を採用した。そこで、市民の目で「親しみやすい指標」を定期的に調査し、身近な水辺に関心を持ってもらい、水質改善につなげることを目的とする。		
2 実施内容（概要）、実施時期、実施場所など	<ul style="list-style-type: none"> 実施内容 透視度、水の色、水のおいしさ、ゴミ及び水量（河川のみ）について、市民モニターが年4回調査を実施。調査結果を市に提出してもらい、それをとりまとめて、市が公表 実施場所 8河川、4ため池（24地点） 		
3 取組の連携・協働	市民グループにより調査を行い、市が結果をまとめて公表する。		
取組	湧き水モニター	登録年度	平成19年度
分類	水質の浄化 水量の確保 生態系の維持 水辺の保全		
実施主体	名古屋市、市民グループ		
1 取組の目的、背景及び必要性	水循環の一つの指標と考えられる湧き水の状況を、市民と協働で把握し、水循環に対する市民の関心を高め、行動へのきっかけとする。		
2 実施内容（概要）、実施時期、実施場所など	<ul style="list-style-type: none"> 実施内容 湧き水の状況を四季にわたり調査 実施場所 5エリア 		
3 取組の連携・協働	市民により、湧き水のモニタリングを実施し、市が結果をとりまとめ公表する。		

川・里海づくりの取組

取組	堀川の総合整備	登録年度 平成19年度
分類	<input type="checkbox"/> 水質の浄化 <input type="checkbox"/> 水量の確保 <input type="checkbox"/> 生態系の維持 <input checked="" type="checkbox"/> 水辺の保全	
実施主体	堀川水環境改善協議会、名古屋市	
<p>1 取組の目的、背景及び必要性</p> <p>堀川は、「うるおいと活気の都市軸・堀川」を再びよみがえらせる」という目標を達成するため、マイタウン・マイリバー堀川整備事業を進めている。</p> <p>また堀川では、健全な水環境系の構築が重要であることに鑑み、生物生息環境の確保と人と自然の豊かな触れ合い活動の場の確保を目的として、水質及び水量の改善を図っている。</p> <p>2 実施内容（概要）、実施時期、実施場所など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実施内容 護岸の整備 ・ 実施場所 黒川地区：0.6km（完了）、納屋橋地区：0.4km、白鳥地区：2.6km、名城地区：1.6km、松重地区：1.7km（未着手） <p>また、堀川全川において水質及び水量の改善を図る。（水質改善目標年度 平成22年度）</p> <p>3 取組の連携・協働</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 水質調査を市民団体等と連携して行っている。（現在、堀川1000人調査隊2010が活動中） ・ 堀川いっせいで掃除（クリーン堀川） 		
取組	遊歩道・サイクリングロード整備事業	登録年度 平成19年度
分類	<input type="checkbox"/> 水質の浄化 <input type="checkbox"/> 水量の確保 <input type="checkbox"/> 生態系の維持 <input checked="" type="checkbox"/> 水辺の保全	
実施主体	江南市	
<p>1 取組の目的、背景及び必要性</p> <p>地域再生計画として認定されたまちづくり交付金を受け、国の実施する親水護岸（水辺プラザ）、国営公園等を結ぶものとして、遊歩道・サイクリングロードを整備するものである。</p> <p>2 実施内容（概要）、実施時期、実施場所など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実施内容 遊歩道・サイクリングロードの整備 ・ 実施場所 木曾川の堤防及び高水敷 		
取組	矢田川散歩歩道整備事業	登録年度 平成19年度
分類	<input type="checkbox"/> 水質の浄化 <input type="checkbox"/> 水量の確保 <input type="checkbox"/> 生態系の維持 <input checked="" type="checkbox"/> 水辺の保全	
実施主体	尾張旭市	
<p>1 取組の目的、背景及び必要性</p> <p>市民からの自然と親しめる環境づくりの要望が増加し、身近な水辺の親水性の向上づくりを図るため、矢田川河川敷に散策路整備を推進する。</p> <p>2 実施内容（概要）、実施時期、実施場所など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実施内容 散策路の整備、緑化の推進 ・ 実施場所 矢田川河川敷 ・ 実施期間 平成16年度から平成24年度 <p>3 取組の連携・協働</p> <p>基本計画作成時のワークショップメンバーの有志によりボランティアグループが発足され、現地の植生調査、ゴミ回収等の協力を得ている。</p>		

取組	親水護岸の整備	登録年度	平成19年度
分類	水質の浄化 水量の確保 生態系の維持 水辺の保全		
実施主体	庄内川河川事務所		
<p>1 取組の目的、背景及び必要性 地域の住民が水辺に近づいたり、子供達が水辺で遊んだり出来るようにするための親水性の護岸の設置を図る。(水辺の楽校、総合学習の会場、水生生物調査の場としての整備)</p> <p>2 実施内容(概要)、実施時期、実施場所など</p> <p>(1) 枇杷池地区水防拠点河川敷整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 実施内容 水防拠点、環境学習エリア水際整備、自然環境保護エリアの整備 実施場所 庄内川(清須市西枇杷島町) 実施時期 ~H20 <p>(2) 堀越小田井地区散策路・親水空間整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 実施内容 小田井遊水池前面の散策路、坂路、親水空間の整備 実施場所 庄内川(名古屋市西区) 実施時期 ~H20 <p>(3) 矢田川地区河川敷整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 実施内容 親水護岸の設置、園路整備 実施場所 庄内川(名古屋市北区成願寺町) 実施時期 ~H20 <p>3 取組の連携・協働 市民、町、市(ワーキング形式で形状等を決めています)</p>			
取組	港湾環境整備事業(中川運河緑地)	登録年度	平成19年度
分類	水質の浄化 水量の確保 生態系の維持 水辺の保全		
実施主体	名古屋港管理組合		
<p>1 取組の目的、背景及び必要性 市街地の貴重な水辺空間を活用して、人々が水辺に近づき、憩うことのできる空間として、港と都心を結ぶ快適な水辺環境軸を形成するため、中川運河において緑地を整備する。</p> <p>2 実施内容(概要)、実施時期、実施場所など</p> <p>(1) 水辺空間を活用した親水プロムナード等の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 実施場所 中川運河の中川口、昭和橋、堀止の3地区(計5.1ha) 実施時期 平成9年度~28年度(予定) <p>(2) 中川口地区の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 実施時期 平成9年度から平成19年度 平成20年度から堀止地区の整備に着手する予定 			
			
取組	庄内川中流域水環境改善の取組実施	登録年度	平成19年度
分類	水質の浄化 水量の確保 生態系の維持 水辺の保全		
実施主体	庄内川河川事務所		
<p>1 取組の目的、背景及び必要性 昭和40年代の庄内川は下水の他、様々な工場排水が流入し、BODが15mg/lを超える汚れのひどい川であった。工場の排水規制と下水道の整備等により昭和50年代から改善がすすみ、近年はBODが5.0mg/l以下と、環境基準(D類型8.0mg/l以下)を満足している。(1ランクアップのC類型をも満足している。)しかし、全国の他の川と比較するときれいとは言えず、水質改善の取り組みが必要。支川八田川等からの汚水の流入対策として直接浄化を実施し、その結果をふまえながら水環境改善のための課題・対策の整理の検討を行う。</p> <p>2 実施内容(概要)、実施時期、実施場所など</p> <ul style="list-style-type: none"> 概要 庄内川中流域の水質改善に向け、協議会を設立。(H10~) H14基本計画書を協議会で採択する。 支川から流れ出る汚水の水質浄化を実施。(H16~17) 実験の結果を整理 → 直接浄化を運用するには課題の整理が必要。 浄化方法の再検討、ソフト対策の検討。 <p>3 取組の連携・協働 企業(協議会メンバー)、名古屋市、春日井市、国、愛知県</p>			

取組	直接浄化施設の運転・管理				登録年度	平成19年度
分類	水質の浄化	水量の確保	生態系の維持	水辺の保全		
実施主体	名古屋港管理組合					
<p>1 取組の目的、背景及び必要性</p> <p>中川運河は、閘門によって海と隔てられた閉鎖性が強い水域であり、生活排水等が流入することから、水質汚濁が進みやすく、また、海水が流入していることもあり成層化がすすみ、貧酸素化による魚の斃死も発生していた。</p> <p>中川口地区においては、市街地の貴重な水辺空間として、水際遊歩道等の緑地整備が進められているが、その前面水域の環境向上を図り快適な水辺空間を創出するため、水質浄化施設を整備し、曝気を実施している。</p> <p>2 実施内容（概要）、実施時期、実施場所など</p> <p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実施内容 平日夜間および休日の閘扉閉鎖時における魚の斃死対策として、平成14年度に水質浄化施設を整備し、平成15年度から曝気を実施している。 ・ 実施場所 中川運河通船門の閘室内 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実施内容 運河内に循環流を発生させて、躍層を緩和し、底層の貧酸素化や植物プランクトンの増殖を抑制するため、平成15～16年度に水質浄化施設を整備し、平成16年度から曝気を実施している。 ・ 実施場所 中川運河通船門からいろは橋までの運河両岸 						
取組	庄内川の清掃活動				登録年度	平成19年度
分類	水質の浄化	水量の確保	生態系の維持	水辺の保全		
実施主体	矢田・庄内川をきれいにする会					
<p>1 取組の目的、背景及び必要性</p> <p>1970年代高度経済成長下で水も空気も汚れて当たり前という時代に「川の汚れは心の汚れ」をスローガンにきれいな川を「次代の青少年にきれいな水とあたたかい社会」を残すために活動を始めた。</p> <p>2 実施内容（概要）、実施時期、実施場所など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実施内容 河川の清掃活動 ・ 実施場所 庄内川 ・ 実施時期 年間を通して実施 						
取組	大山川クリーンアップ行事				登録年度	平成19年度
分類	水質の浄化	水量の確保	生態系の維持	水辺の保全		
実施主体	大山川を愛する市民の会					
<p>1 取組の目的、背景及び必要性</p> <p>小牧市に源流をなす大山川の浄化、清流化、自然化を推進し、ふるさとの川の再生を通して人のふれあいと地域の連帯感を深めるとともに、次世代の子孫に潤いのある豊かな自然を残し、小牧市のまちづくりを図る。</p> <p>2 実施内容（概要）、実施時期、実施場所など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実施内容 大山川クリーンアップ行事（河川敷の漂流ゴミの一斉清掃を会が主体となり各団体を取りまとめ官民協働で実施） ・ 実施場所 大山川（ホテルの里から小向橋までの約1.1km） ・ 実施時期 毎年9月第2日曜日 <p>3 取組の連携・協働</p> <p>各種団体、企業、各区、小牧市</p>						
取組	大江川クリーン作戦				登録年度	平成19年度
分類	水質の浄化	水量の確保	生態系の維持	水辺の保全		
実施主体	グラウンドワーク一宮実行委員会					
<p>1 取組の目的、背景及び必要性</p> <p>一宮市内中心部では貴重な水辺の憩いの場となっている大江川を美しく保つため、地域住民、企業、行政の参加のもとに清掃しようという機運が高まり、大江川クリーン作戦が展開されることになり、平成11年9月に主催団体として、グラウンドワーク一宮実行委員会が組織された。</p> <p>2 実施内容（概要）、実施時期、実施場所など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実施内容 川底、遊歩道の清掃 ・ 実施場所 大江川の大正橋～森本新橋（一宮市） ・ 実施時期 毎年11月第2土曜日 <p>3 取組の連携・協働</p> <p>宮田用水土地改良区、ロータリークラブ、一宮女学園、(医)大雄会、中部電力、NPO法人グラウンドワーク東海、ボーイスカウト、東海農政局、一宮市、他20団体</p>						

取組	五条川等の清掃活動	登録年度	平成19年度
分類	水質の浄化 水量の確保 生態系の維持 水辺の保全		
実施主体	市内地域コミュニティ（羽黒コミュニティ・楽田コミュニティ）		
<p>1 取組の目的、背景及び必要性</p> <p>地域住民による自主的な取組で、河川周辺の環境を保全することを目的としている。</p> <p>2 実施内容（概要）、実施時期、実施場所など</p> <ul style="list-style-type: none"> 実施内容 河川周辺の清掃活動 実施場所 五条川・薬師川（犬山市） 実施時期 年1回 <p>3 取組の連携・協働</p> <p>犬山市はゴミ袋・軍手の配布、ごみの収集を協力</p>			
取組	クリーンアップ五条川	登録年度	平成19年度
分類	水質の浄化 水量の確保 生態系の維持 水辺の保全		
実施主体	岩倉の水辺を守る会		
<p>1 取組の目的、背景及び必要性</p> <p>岩倉市のシンボリックな存在でもある五条川を美しく守るため、ごみを拾う運動から、捨てない、汚さない心を育むため、過去22年間にわたり、五条川清掃（クリーンアップ五条川）を実施している。</p> <p>2 実施内容（概要）、実施時期、実施場所など</p> <ul style="list-style-type: none"> 実施内容 河床と堤防の清掃活動を実施 実施場所 五条川（約5kmの区間）（岩倉市） 実施時期 毎年3月 <p>3 取組の連携・協働</p> <p>市民及び市内各種団体の参加支援を受けている。</p>			
取組	新川等の清掃活動	登録年度	平成19年度
分類	水質の浄化 水量の確保 生態系の維持 水辺の保全		
実施主体	清須市河川環境美化推進協議会		
<p>1 取組の目的、背景及び必要性</p> <p>新川の河川環境美化活動を通じて、地域住民との協力と連携により、清潔で快適なまちづくりの推進を図ることを目的に、昭和62年から取り組んでいる。今後は、市内を流れる五条川、庄内川も含めた取り組みを推進する。</p> <p>2 実施内容（概要）、実施時期、実施場所など</p> <ul style="list-style-type: none"> 実施内容 新川地区住民が中心となり、ごみ拾い及び草取りを実施 実施場所 新川河川敷一帯（清須市） 実施時期 年2回（5月30日のごみゼロの直近日曜日、9月第1日曜日） <p>3 取組の連携・協働</p> <p>新川地区総代を通じて回覧板を回し、市民に参加をお願いする。また、清洲地区、西枇杷島地区については、ボランティア連絡協議会に協力依頼をする。</p>			
取組	川と海のクリーン大作戦	登録年度	平成19年度
分類	水質の浄化 水量の確保 生態系の維持 水辺の保全		
実施主体	一宮市、江南市、国土交通省、愛知県		
<p>1 取組の目的、背景及び必要性</p> <p>川や海を快適に利用するために、木曾三川・伊勢湾沿岸の主な河川の地域で、市町と地域が一体となって行う清掃活動。国土交通省の提案により、平成12年より行われている。</p> <p>2 実施内容（概要）、実施時期、実施場所など</p> <ul style="list-style-type: none"> 実施内容 河川区域及びその周辺の清掃活動を行なう。 実施場所 木曾川沿線の7箇所（一宮市） 木曾川沿線の3箇所（江南市） <p>3 取組の連携・協働</p> <p>広報等に掲載して参加者を募集している。</p>			

取組	藤前干潟クリーン大作戦				登録年度	平成19年度
分類	水質の浄化	水量の確保	生態系の維持	水辺の保全		
実施主体	藤前干潟クリーン大作戦実行委員会					
<p>1 取組の目的、背景及び必要性</p> <p>川や海などの清掃活動</p> <p>2 実施内容（概要）、実施時期、実施場所など</p> <ul style="list-style-type: none"> 実施内容 清掃活動 実施場所 庄内川下流明德橋から藤前干潟までの区間 (明德橋から藤前干潟までの10会場設置) 実施時期 春(5月頃)、秋(10月頃)の2回実施 <p>3 取組の連携・協働</p> <ul style="list-style-type: none"> 行政(名古屋市、国土交通省、環境省、愛知県等)との協働の取組。(実行委員会メンバーは、環境省自然環境局中部地方環境事務所、国土交通省庄内川河川事務所) 土岐川・庄内川・新川流域の自治体、地域の自治会、企業の参加を呼びかけ 						
取組	水生生物調査				登録年度	平成19年度
分類	水質の浄化	水量の確保	生態系の維持	水辺の保全		
実施主体	県民、市町村、国、愛知県					
<p>1 取組の目的、背景及び必要性</p> <p>身近な水辺への触れ合いを深めるとともに河川の水質浄化に対する意識の高揚を図るため、昭和60年度から夏休みの期間を中心に、県内各地で水生生物調査を実施している。</p> <p>2 実施内容（概要）、実施時期、実施場所など</p> <ul style="list-style-type: none"> 実施内容 水生生物調査 実施場所 [平成19年度調査結果] 木曾川、庄内川、矢田川、瀬戸川、水野川、蛇ヶ川、生地川、大山川、五条川、田口洞川(10河川、28地点) <p>3 取組の連携・協働</p> <p>小中学生、地元住民グループ、市町村、国、愛知県</p>						
						
取組	モリコロの川(矢田川)を守るプロジェクト				登録年度	平成19年度
分類	水質の浄化	水量の確保	生態系の維持	水辺の保全		
実施主体	瀬戸市ならびに尾張旭市の5つの自治会、3つのまちづくり団体、及び1つの市民団体					
<p>1 取組の目的、背景及び必要性</p> <p>愛・地球博開催を契機に、地球環境改善が人類最大のテーマであることを学び、まずは地元からの地道な実践が必要であると強く感じた。</p> <p>その地元の河川である矢田川に目を向け、以前から可能な限りの環境整備を実施してきたが、狭い範囲で独自に行うには限界があると感じ、流域全体をネットワークで結び、情報、ノウハウを共有し、その知見等を流域全体の住民に広く広報し、まずは河川に対する関心を高めることが大切であると考え、プロジェクトを結成し、活動を開始した。</p> <p>このプロジェクトは、瀬戸市、尾張旭市の5つの自治会、3つのまちづくり団体、及び1つの市民団体、両市の支援議員団からなるものである。</p> <p>2 実施内容（概要）、実施時期、実施場所など</p> <ul style="list-style-type: none"> 実施内容 <ul style="list-style-type: none"> ①河川堤防の清掃、草刈、堤防植林(緑の回廊)の維持管理 ②河川敷広場の維持管理 ③河川に生息する希少生物の保護 ④河川敷広場を利用した地域交流と親水行事の実施 ⑤水環境に関するフォーラム等の実施 実施場所 矢田川周辺 実施時期 通年 <p>3 取組の連携・協働</p> <p>尾張建設事務所建設第一課、同事務所建設第二課、同事務所維持管理課、瀬戸市維持管理課、尾張旭市建設部河川担当課</p>						

取組	「合瀬川の清流を取りもどす会」の活動	登録年度	平成19年度
分類	水質の浄化 水量の確保 生態系の維持 水辺の保全		
実施主体	合瀬川の清流を取りもどす会 犬山市、小牧市、北名古屋市、扶桑町、大口町		
<p>1 取組の目的、背景及び必要性</p> <p>合瀬川流域の水質の保全と環境の美化により、魚が住みホタルが飛ぶ豊かな自然を取り戻し、住民の健康で快適な生活ができる環境をつくることを目的とし、昭和48年5月に結成された。</p> <p>2 実施内容（概要）、実施時期、実施場所など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実施内容 水生生物調査（年3回）、水質調査（年2回）、各市町で「水辺に親しむ活動」や「河川美化活動」を実施 ・ 実施場所 合瀬川 <p>3 取組の連携・協働</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3市2町（犬山市、小牧市、北名古屋市、扶桑町、大口町）で連携 ・ 粗大ゴミ清掃については尾張建設事務所、一宮建設事務所に依頼 			

取組	水質環境目標値市民モニタリング（再掲）	登録年度	平成19年度
分類	水質の浄化 水量の確保 生態系の維持 水辺の保全		
実施主体	名古屋市、市民グループ		
<p>1 取組の目的、背景及び必要性</p> <p>平成17年度に「環境目標値」を見直し、水のおいしさや水の色等より感覚的にわかりやすい「親しみやすい指標」を採用した。そこで、市民の目で「親しみやすい指標」を定期的に調査し、身近な水辺に関心を持ってもらい、水質改善につなげることを目的とする。</p> <p>2 実施内容（概要）、実施時期、実施場所など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実施内容 透視度、水の色、水のおいしさ、ゴミ及び水量（河川のみ）について、市民モニターが年4回調査を実施 調査結果を市に提出してもらい、それをとりまとめて、市が公表 ・ 実施場所 8河川、4ため池（24地点） <p>3 取組の連携・協働</p> <p>市民グループにより調査を行い、市が結果をまとめて公表する。</p>			



取組	藤前干潟でのイベントの実施	登録年度	平成19年度
分類	水質の浄化 水量の確保 生態系の維持 水辺の保全		
実施主体	名古屋市		
<p>1 取組の目的、背景及び必要性</p> <p>広く市民に対して都市と自然との共生の象徴として藤前干潟の保全活用の意義及びその重要性を分かりやすくアピールすることを目的とし、藤前干潟周辺において普及啓発イベントを実施している。</p> <p>2 実施内容（概要）、実施時期、実施場所など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実施内容 「藤前干潟ふれあいデー」（ワークショップ、展示、観察会等） ・ 実施場所 ラムサール条約湿地藤前干潟周辺 ・ 実施時期 11月18日「藤前干潟の日」頃（毎年実施） <p>3 取組の連携・協働</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 協働企画：藤前干潟協議会 ・ 後援：環境省中部地方環境事務所、愛知県 			



(3) 天白川・山崎川等流域



【天白川・山崎川等】

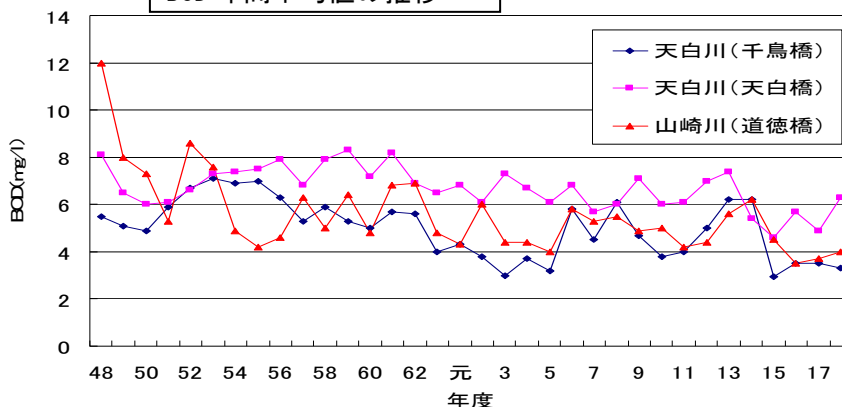
流域の概要

天白川
 河川延長 22.7 km
 流域面積 119 km²
 山崎川
 河川延長 13.6 km
 流域面積 26 km²

水質環境基準

水域	類型	pH	BOD	SS	DO
天白川	C	6.5-8.5	5mg/l 以下	50mg/l 以下	5mg/l 以上
山崎川	D	6.5-8.5	8mg/l 以下	100mg/l 以下	2mg/l 以上

BOD 年間平均値の推移



山崎川(瑞穂公園)の桜
 名古屋市ホームページより

流域情報

- 天白川流域は名古屋市のベッドタウンとして日進市を中心に人口が増加傾向にあり、流域全体で市街化が進行している。
- 山崎川は名古屋市千種区の猫ヶ洞池から名古屋市内を南西に流下し、昭和 63 年にふるさとの川モデル事業の認可を受け「まちづくり」の視点から親水整備が進められている。
- 山崎川の桜は、財団法人日本さくらの会から「さくらの名所 100 選」に認定され桜の名所として親しまれている。
- この地域には、公有ため池も多く存在する。

生物の生息・生育状況

植物：ツルヨシ
 鳥類：カモ類(越冬地)、サギ類
 魚類：(汽水域)ボラ、スズキ、マハゼ
 (淡水域)コイ、ギンブナ、オイカワ、モツゴ、カワヨシノボリ



公園として利用されている高水敷
 天白川(新島田橋付近)

【天白川・山崎川等】

流域での取組

なごや川プラン21懇談会

名古屋市が平成9年1月に設置した。地域に根付き、人と街を潤し、生きものを育み、さらに大雨に強い街づくりに寄与する川づくりを基本に、地域の特性を生かした川づくりのあり方について検討を重ねる。

名古屋市は、昭和49年に「名古屋市ため池環境保全協議会」を発足させ、平成4年には「ため池保全要綱」を施行して、ため池を治水・利水・環境の面から保全を図っている。

川に関する総合学習や、地域住民による清掃活動が行われている。

特徴と課題

- 農用地の多くは愛知用水の受益地であり、工業用水・水道用水も大半を木曾川水系に依存している。
- 天白川など市民の憩いの場として高水敷の利用が進んでおり、生態系を含めた周辺環境と調和した環境が求められている。

流域別目標


- ☆都市を潤し自然と人を育む川
- ☆周辺環境と調和した、四季感あふれる散歩道

- 魚が行き交う自然が豊かな川
- バートウォッチングや水遊びが楽しめる水辺
- 瀬や淵など変化がある流れ



天白川(西梅森橋)付近の瀬

森づくりの取組

取組	水源涵養林育成事業	登録年度	平成19年度
分類	水質の浄化 水量の確保 生態系の維持 水辺の保全		
実施主体	愛知用水の受益市町		
<p>1 取組の目的、背景及び必要性 平成3年愛知用水通水30周年を期に、愛知用水サミット宣言の趣旨に基づき、「受益市町連絡会議」が設置された。</p> <p>2 実施内容（概要）、実施時期、実施場所など</p> <ul style="list-style-type: none"> 実施内容 植樹祭（ヒノキの苗木を300本／年植樹） 実施場所 牧尾ダム周辺 実施時期 毎年5月下旬頃 <p>3 取組の連携・協働</p> <ul style="list-style-type: none"> 植樹祭は受益市町、水源村である王滝村、木曽町、木曽森林組合、愛知県、水資源機構、愛知用水土地改良区が参加する。 愛知用水土地改良区は、植樹場所の選定、植樹後の管理（下草刈、枝打ち、食害防除）を行っている。 			
		<p style="text-align: center;"><u>愛知用水サミット宣言</u></p> <p>私たちは、愛知用水の水源村と受益市町といった立場の違いを越え、21世紀に向けて、限りある貴重な水の確保とこれからの愛知用水のあるべき姿について、今後引き続き、対話と協調の道を歩む必要性を確認し、この愛知用水サミットにおいて、次のとおり宣言する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 一 私たちは、愛知用水のいのちの水がめである牧尾ダムの美しい姿を後生に残すため、牧尾ダム周辺の景観整備とダムを潤す水源涵養林の保護、育成に努めるものとする。 二 受益市町は牧尾ダムの建設と管理に協力いただけてきた、王滝・三岳両村の方々に感謝し、人と人との交流の拡大等を通じて、両村の一層の発展に奇与するものとする。 三 受益市町は、水の有効利用や水質の保全に努めるとともに、住民に対して、これら水に関する広報、啓蒙活動をより一層活発に行うものとする。 	
取組	分収造林の整備	登録年度	平成19年度
分類	水質の浄化 水量の確保 生態系の維持 水辺の保全		
実施主体	日進市		
<p>1 取組の目的、背景及び必要性 味噌川ダムの建設をきっかけに、平成4年4月にダムの上下流の関係で木祖村と愛知県日進市(当時は町)が友好自治体提携を結んだことを契機に、「森林を守ることで水を守る」ことを目的として、生活用水、工業用水及び農業用水の殆どを木曽川に依存している日進市の費用負担により、味噌川ダム左岸の国有林内に分収造林「平成日進の森林」の造林事業が実施されているものである。(平成5年4月に長野営林局長・日進町長間で分収造林契約締結)。</p> <p>2 実施内容（概要）、実施時期、実施場所など</p> <ul style="list-style-type: none"> 実施内容 ヒノキ植林、分収（平成5年～10年にヒノキを植林、80年後に日進市、森林管理局で分収） 実施場所 味噌川ダム左岸 <p>3 取組の連携・協働 事業主体は日進市であるが、水源の森の整備という観点から、味噌川ダム管理所は、木祖村と日進市合同の植樹祭や育樹祭に参加している他、造林事業を側面から支援している。</p>			
取組	水源地域との上下流交流	登録年度	平成19年度
分類	水質の浄化 水量の確保 生態系の維持 水辺の保全		
実施主体	名古屋市		
<p>1 取組の目的、背景及び必要性 名古屋の水源地である岐阜県下呂市（岩屋ダム）と長野県木祖村（味噌川ダム）と交流することにより、水源涵養意識の高揚を図る。</p> <p>2 実施内容（概要）、実施時期、実施場所など</p> <ul style="list-style-type: none"> 実施内容 名古屋市民が水源地を訪れ、ドングリの苗の植樹やダム見学などを通して水源地の人と交流する。（「木曽川さんありがとう」） 実施時期 毎年5月頃 <p>3 取組の連携・協働 ボランティアグループ「水源地を見にいき隊」も同行。</p>			

郷づくりの取組

取組	郷づくりの取組				登録年度 平成 19 年度
分類	水質の浄化	水量の確保	生態系の維持	水辺の保全	
実施主体	県民、事業者、民間団体、市町村、国、県等				
<p><取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 農業集落排水事業 ○ 環境保全型農業の推進 ○ 畜産排水対策の推進 ○ エコファーマーの認定 ○ 農地の保全・整備 ○ ため池・水路の多機能化推進 ○ 農村環境整備 ○ ため池の保全 ○ 農業水利施設の整備 					
 					

まちづくりの取組

取組	合流式下水道の改善	登録年度	平成19年度
分類	水質の浄化 水量の確保 生態系の維持 水辺の保全		
実施主体	名古屋市		
<p>1 取組の目的、背景及び必要性</p> <p>合流式下水道は、雨天時に未処理下水の一部がそのまま公共用水域に放流され、水質上、公衆衛生上問題があるため、合流式下水道の改善を図る。</p> <p>2 実施内容（概要）、実施時期、実施場所など</p> <ul style="list-style-type: none"> 実施内容 合流式下水道の改善のため、吐き口対策スクリーン、遮集管、雨水貯留施設等の設置を行う。 実施場所 名古屋市 			
取組	なごや東山の森づくり	登録年度	平成19年度
分類	水質の浄化 水量の確保 生態系の維持 水辺の保全		
実施主体	名古屋市		
<p>1 取組の目的、背景及び必要性</p> <p>名古屋市では、東山公園や平和公園で長年自然観察会を行ってきた市民グループからの「東山の森の将来像を市民と行政の間で共有し、協働により森を守り育てていこう」という提案をきっかけとして、市街地に残された都市の森を市民共有の貴重な財産として、22世紀に向けて、市民・企業・行政の協働で守り育てていくため、平成15年7月に「なごや東山の森づくり基本構想」を策定した。この基本構想は、市民・学識経験者・企業と市とともに案をつくり、市民の意見を取り入れてまとめてきたもので、この基本構想を基に市民とともに「なごや東山の森づくり」を進めている。</p> <p>2 実施内容（概要）、実施時期、実施場所など</p> <ul style="list-style-type: none"> 実施内容 雑木林や湿地、竹林の手入れ 森の観察、調査 クラフトづくり等森での体験イベント <p>3 取組の連携・協働</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民（なごや東山の森づくりの会、下記）、企業、行政の協働で森づくりを進めている。 <p>なごや東山の森づくりの会：東山公園や平和公園で長年自然観察会を行ってきた市民グループが中心となり、東山の森づくりを名古屋市と協働で行い、共生型社会の実現を目指すことを目的に、平成16年2月に発足した市民活動団体。</p>			
取組	水質環境目標値市民モニタリング	登録年度	平成19年度
分類	水質の浄化 水量の確保 生態系の維持 水辺の保全		
実施主体	名古屋市、市民グループ		
<p>1 取組の目的、背景及び必要性</p> <p>平成17年度に「環境目標値」を見直し、水のおいしさや水の色等より感覚的にわかりやすい「親しみやすい指標」を採用した。そこで、市民の目で「親しみやすい指標」を定期的に調査し、身近な水辺に関心を持ってもらい、水質改善につなげることを目的とする。</p> <p>2 実施内容（概要）、実施時期、実施場所など</p> <ul style="list-style-type: none"> 実施内容 透視度、水の色、水のおいしさ、ゴミ及び水量（河川のみ）について、市民モニターが年4回調査を実施 調査結果を市に提出してもらい、それをとりまとめて、市が公表 実施場所 6河川、8ため池（16地点） <p>3 取組の連携・協働</p> <p>市民グループにより調査を行い、市が結果をまとめて公表する。</p>			
取組	湧き水モニター	登録年度	平成19年度
分類	水質の浄化 水量の確保 生態系の維持 水辺の保全		
実施主体	名古屋市、市民グループ		
<p>1 取組の目的、背景及び必要性</p> <p>水循環の一つの指標と考えられる湧き水の状況を、市民と協働で把握し、水循環に対する市民の関心を高め、行動へのきっかけとする。</p> <p>2 実施内容（概要）、実施時期、実施場所など</p> <ul style="list-style-type: none"> 実施内容 湧き水の状況を四季にわたり調査 実施場所 5エリア <p>3 取組の連携・協働</p> <p>市民により、湧き水のモニタリングを実施し、市が結果をとりまとめ公表する。</p>			



川・里海づくりの取組

取組	まちづくりと一体化した河川整備	登録年度	平成19年度
分類	水質の浄化 水量の確保 生態系の維持 水辺の保全		
実施主体	名古屋市		
<p>1 取組の目的、背景及び必要性 昭和62年度に「ふるさとの川整備事業」のモデル河川として二級河川山崎川が選出されたことにより、落ち着いた周辺住宅地の雰囲気になじんだ水辺空間の創出をめざし河川整備を行っている。</p> <p>2 実施内容（概要）、実施時期、実施場所など</p> <ul style="list-style-type: none"> 実施内容 緩勾配護岸、階段などを積極的に取り入れ公園と一体となった親水空間を形成したり、護岸表面に自然石等を用いることによって自然に溶け込んだ落ち着いた雰囲気を造り出し、河床には置石・ヨシ等の植生を設けている。河岸道路には、改修以前よりあった桜をはじめ樹木・地被類を復元し、自然が豊かな環境整備を行っている。 実施場所 山崎川（瑞穂区可和名橋～昭和区出合橋） 実施時期 昭和63年度～ <p>3 取組の連携・協働 学識経験者、地域住民等の意見を参考に、事業計画を立案した。</p>			



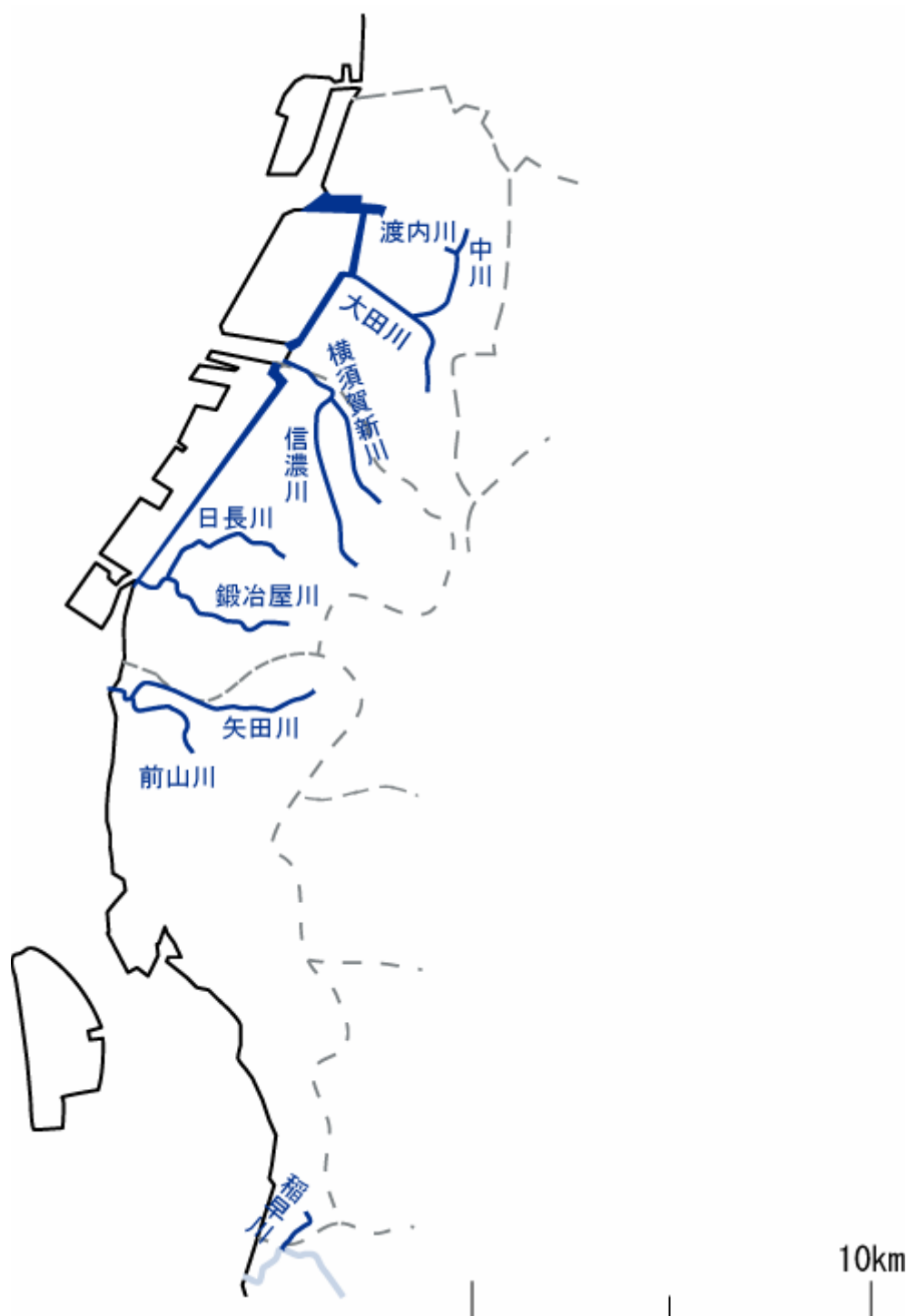
取組	水生生物調査	登録年度	平成19年度
分類	水質の浄化 水量の確保 生態系の維持 水辺の保全		
実施主体	県民、市町村、愛知県		
<p>1 取組の目的、背景及び必要性 身近な水辺への触れ合いを深めるとともに河川の水質浄化に対する意識の高揚を図るため、昭和60年度から夏休みの期間を中心に、県内各地で水生生物調査を実施している。</p> <p>2 実施内容（概要）、実施時期、実施場所など</p> <ul style="list-style-type: none"> 実施内容 水生生物調査 実施場所 [平成19年度調査結果] 山崎川、天白川（2河川、4地点） <p>3 取組の連携・協働 小中学生、地元住民グループ、市町村、愛知県</p>			

取組	水質環境目標値市民モニタリング（再掲）	登録年度	平成19年度
分類	水質の浄化 水量の確保 生態系の維持 水辺の保全		
実施主体	名古屋市、市民グループ		
<p>1 取組の目的、背景及び必要性 平成17年度に「環境目標値」を見直し、水のおいしさや水の色等より感覚的にわかりやすい「親しみやすい指標」を採用した。そこで、市民の目で「親しみやすい指標」を定期的に調査し、身近な水辺に関心を持ってもらい、水質改善につなげることを目的とする。</p> <p>2 実施内容（概要）、実施時期、実施場所など</p> <ul style="list-style-type: none"> 実施内容 透視度、水の色、水のおいしさ、ゴミ及び水量（河川のみ）について、市民モニターが年4回調査を実施 調査結果を市に提出してもらい、それをとりまとめて、市が公表 実施場所 6河川、8ため池（16地点） <p>3 取組の連携・協働 市民グループにより調査を行い、市が結果をまとめて公表する。</p>			



取組	天白・川辺の楽校	登録年度	平成 19 年度
分類	水質の浄化 水量の確保 生態系の維持 水辺の保全		
実施主体	市民、天白区役所		
<p>1 取組の目的、背景及び必要性</p> <p>天白川とその流域を中心として、川に親しみ、川に学び、川の課題を知り、自然環境のすばらしさの維持・保全につとめ、川にかかわる生活のたのしきやゆたかさを次世代に伝承すること。</p> <p>2 実施内容（概要）、実施時期、実施場所など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実施内容 <ul style="list-style-type: none"> (1) 次世代を担う子どもを中心に、川へのかかわり方・学習・体験などへの支援 (2) 川の自然環境を維持・保全する作業や生物の育成・生息調査など (3) 川について学ぶ (4) 天白川流域などの、目的を同じくする団体との交流を行う (5) 川を通して、住みよいまちづくり活動に協力する など。 <p>[平成 19 年度の活動] ヤゴ救出作戦（天白プール）、川遊びといきもの観察、まつり天白 2007 での笹舟流し・ストーンペインティング（天白公園）、天白川クリーン作戦 with 秋の味覚</p> <p>3 取組の連携・協働</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市民と区役所が連携して活動を行っている。 ・ 上記（4）の交流 			

(4) 伊勢湾沿岸域 (知多半島等)

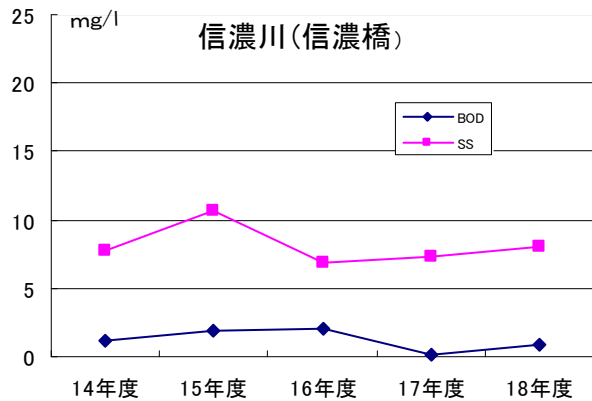
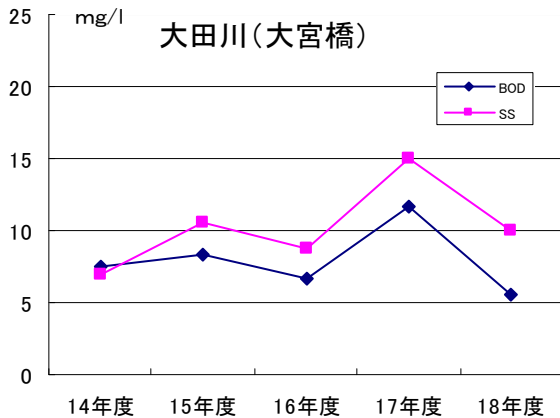


【伊勢湾沿岸域(知多半島等)】

流域の概要

	大田川	信濃川	日長川
河川延長(km)	4.1	5.9	3.9
流域面積(km ²)	17.2	12.0	12.3

BOD、SSの年間平均値の推移



(出典)平成19年版 東海市の環境概況

流域情報

- 中央部の知多丘陵と先端の師崎丘陵が比較的高く、伊勢湾(狭義)側は伊勢湾東部低地からなる平野部となっている。
- 河川は、いずれも延長が短い。
- 大きな河川がないことから多くのため池が造られてきたが、慢性的に農業用水が不足している。
- 昭和36年の愛知用水通水後は農業・工業・水道用水とも、その大部分を木曾川水系からの取水に依存しているが、ため池も利用されている。
- 平成6年の大渇水において、木曾川牧尾ダムなどの水が枯渇し、農業用水で輪番かんがいにより65%節水、水道用水で最大19時間断水、工業用水では回収水利用強化等、各利水者の厳しい節水が行われた。
- 平成10年4月から、長良川の水が知多半島に供給されている。
- 信濃川の水源である佐布里池は、名古屋南部臨海工業地帯の工業用水確保等を目的とした愛知用水関連施設で、昭和40年5月に完成した人造湖であるが、周辺は春先には約1,600本の梅が咲き誇り梅まつりが開催されるなど、人々に親しまれている。

生物の生息・生育状況

植物：ヨシ、クサヨシ、ヒメガマ、マコモ
 ほ乳類：イタチ、モグラ
 鳥類：カワウ、サギ類、イカルチドリ
 は虫類：イシガメ、ニホントカゲ
 両生類：ヌマガエル、トノサマガエル、ダルマガエル
 魚類：ギンブナ、モツゴ、フナ、ヨシノボリ、ドジョウ、メダカ

【伊勢湾沿岸(知多半島等)】

地域の施設等

新舞子マリナーパーク 平成9年にオープン

知多市の新舞子沖を埋め立てて造られた幅約400mの人工海浜で、緑地や海水浴場を整備

名古屋港海づり公園

名古屋港の東航路に面した高潮防波堤(1.3km)を、日本で初めて開放したフィッシングスペース

流域での取組

大田川、信濃川、日長川は、小中学校の学習活動の場やNPOの自然観察の場として利用されているほか、地域住民による清掃活動も実施

特徴と課題

- 河川延長が短く、河川形状や流れの状況から単調な河川環境が見られることから、自然に恵まれ、うろをおいを感じる事ができる川づくりが必要となっている。
- 多く存在するため池は、農業用水の水源としてだけでなく、治水をはじめ地下水かん養や生態系の維持など多面的な機能を持つことから、その保全を図ることが必要である。
- 生活排水対策とともに、農地・畜産の環境保全対策も重要となっている。

流域別目標

- ☆水辺を散歩したい川
- ☆生き物をはぐくむため池を守る

- 水辺の緑が豊かで、魚や昆虫などが見られる川
- 利水・治水を始め多面的機能を有するため池の保全




大池公園(東海市) 東海市ホームページ



前山池(常滑市) 知多農林水産事務所資料


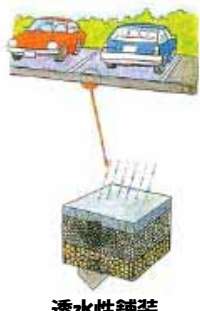
森づくりの取組

取組	水源涵養林育成事業	登録年度	平成19年度
分類	水質の浄化 水量の確保 生態系の維持 水辺の保全		
実施主体	愛知用水の受益市町		
<p>1 取組の目的、背景及び必要性 平成3年愛知用水通水30周年を期に、愛知用水サミット宣言の趣旨に基づき、「受益市町連絡会議」が設置された。</p> <p>2 実施内容（概要）、実施時期、実施場所など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実施内容 植樹祭（ヒノキの苗木を300本／年植樹） ・ 実施場所 牧尾ダム周辺 ・ 実施時期 毎年5月下旬頃 <p>3 取組の連携・協働</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 植樹祭は受益市町、水源村である王滝村、木曽町、木曽森林組合、愛知県、水資源機構、愛知用水土地改良区が参加する。 ・ 愛知用水土地改良区は、植樹場所の選定、植樹後の管理（下草刈、枝打ち、食害防除）を行っている。 			
		<p style="text-align: center;"><u>愛知用水サミット宣言</u></p> <p>私たちは、愛知用水の水源村と受益市町といった立場の違いを越え、21世紀に向けて、限りある貴重な水の確保とこれからの愛知用水のあるべき姿について、今後引き続き、対話と協調の道を歩む必要性を確認し、この愛知用水サミットにおいて、次のとおり宣言する。</p> <p>一 私たちは、愛知用水のいのちの水がめである牧尾ダムの美しい姿を後生に残すため、牧尾ダム周辺の景観整備とダムを潤す水源涵養林の保護、育成に努めるものとする。</p> <p>二 受益市町は牧尾ダムの建設と管理に協力いただいていた、王滝・三岳両村の方々に感謝し、人と人との交流の拡大等を通じて、両村の一層の発展に奇与するものとする。</p> <p>三 受益市町は、水の有効利用や水質の保全に努めるとともに、住民に対して、これら水に関する広報、啓蒙活動をより一層活発に行うものとする。</p>	

郷づくりの取組

取組	郷づくりの取組			登録年度 平成19年度
分類	水質の浄化	水量の確保	生態系の維持	水辺の保全
実施主体	県民、事業者、民間団体、市町村、国、県等			
<p><取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 農業集落排水事業 ○ 環境保全型農業の推進 ○ 畜産排水対策の推進 ○ エコファーマーの認定 ○ 農地の保全・整備 ○ ため池・水路の多機能化推進 ○ 農村環境整備 ○ ため池の保全 ○ 農業水利施設の整備 				
 				

まちづくりの取組

取組	まちづくりの取組			登録年度 平成19年度
分類	水質の浄化	水量の確保	生態系の維持	水辺の保全
実施主体	県民、事業者、民間団体、市町村、国、県等			
<p><取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 下水道の高度処理導入 ○ 総量規制など産業排水対策 ○ 雨水の貯留・浸透施設の整備 ○ 透水性舗装の推進 ○ 水資源の効率的利用・節水 ○ 下水道処理水の再利用 ○ ビオトープの整備 				
		 <p>浸透ます</p>		 <p>透水性舗装</p>

川・里海づくりの取組

取組	海岸環境整備事業	登録年度 平成19年度
分類	水質の浄化 水量の確保 生態系の維持 水辺の保全	
実施主体	愛知県	
<p>1 取組の目的、背景及び必要性 海岸背後に位置する小脇公園や坂井温泉などの集客・健康増進・保養施設と海岸を連携させ、海水浴場、潮干狩り、海岸散策など、自然とのふれあい、心と体の健康づくりが行える海岸とし、海岸環境整備を図る。</p> <p>2 実施内容（概要）、実施時期、実施場所など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実施内容 砂浜の保全・再生を図るため突堤の整備や養浜を行う。また、安全で人々が快適に利用できる海岸を創出するよう緩傾斜護岸、植栽、トイレ等を整備する。 ・ 実施場所 坂井海岸（常滑市） <p>3 取組の連携・協働 維持管理については常滑市が行っている。</p>		
取組	海浜の清掃活動	登録年度 平成19年度
分類	水質の浄化 水量の確保 生態系の維持 水辺の保全	
実施主体	愛知県	
<p>1 取組の目的、背景及び必要性 沿岸漁場の効用を高めるとともに、漁場環境の保全を図る。</p> <p>2 実施内容（概要）、実施時期、実施場所など ＜漁場クリーンアップ事業＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実施内容 海浜の廃棄物の回収 ・ 実施場所 沿岸市町 <p>3 取組の連携・協働 漁業者等による清掃活動の推進</p>		
		
取組	水生生物調査	登録年度 平成19年度
分類	水質の浄化 水量の確保 生態系の維持 水辺の保全	
実施主体	県民、市町村、愛知県	
<p>1 取組の目的、背景及び必要性 身近な水辺への触れ合いを深めるとともに河川の水質浄化に対する意識の高揚を図るため、昭和60年度から夏休みの期間を中心に、県内各地で水生生物調査を実施している。</p> <p>2 実施内容（概要）、実施時期、実施場所など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実施内容 水生生物調査 ・ 実施場所 [平成19年度調査結果] 大田川（1河川、1地点） <p>3 取組の連携・協働 小中学生、地元住民グループ、市町村、愛知県</p>		